

事例研究報告

高等部生徒の飲料を媒介とした やりとりの指導

児童・生徒の実態

- 高等部生徒 脳性まひ(四肢まひ) 難治性てんかん
知的障がい
- 覚醒状態は1日の中で波がある。
授業中眠ってしまうことがしばしばあり、日によっては登校
時から眠っていることもある。
- 1日の中でSpO₂の変動が大きく、注意を要する。
自力排痰しきれず、痰が溜まってくるとSpO₂値が下がるため、
吸引を行う。SpO₂値が安定しない日が時々ある。
- 自発的な表出や身体の動きが少ない。
不快なときは眉間に皺を寄せる等わかりやすいが、楽しい時や
嬉しい時の表出がわかりにくい。

保護者の願い

本人の伝えたいことが分かる
(理解できる)人が増えてほしい。

教員の願い

意思表示できる場面や方法を知り、
コミュニケーションの手段を増やしたい。

実態把握

生徒の表出の仕方を記録する。(6/12~6/19)

記録時間: 登校~3時間目まで

記録項目: 発声 目の動き 顔の動き 手の動き

| 表出 | 発声 | 目の動き | 顔の動き | 手の動き |
|----|----|------|------|------|
| 回数 | 25 | 25 | 7 | 10 |

生徒の覚醒状況を記録する。(6/12~6/19)

○…ずっと覚醒 △…途中で睡眠または覚醒 ▲…ずっと睡眠

| 月日 | 1校時 | 2校時 | 3校時 | 4校時 | 給食時 | 5校時 | 6校時 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 6/12 | ○ | △ | △ | △ | △ | ○ | 授業なし |
| 6/13 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | ○ |
| 6/14 | △ | △ | ▲ | △ | △ | △ | 授業なし |
| 6/15 | ▲ | △ | △ | ○ | △ | △ | 早退 |
| 6/16 | △ | △ | ○ | △ | △ | △ | 授業なし |
| 6/19 | △ | △ | △ | △ | △ | ○ | 授業なし |

実態把握の結果

表出

- 発声と目の動きが同数だった。しかし、発声や手の動きは生理的な影響で表出していることがほとんどであった。

目の動きを活用できるのでは…？

覚醒時間

- 日により覚醒時間の長さ、覚醒時間帯、ともに違うが、1日中眠り続けることはなく、長くて1～2時間弱。

目覚醒状況に応じて指導
することを基本とする

実態把握から目標設定

指導目標

- 呼名されたときに名前カードを見ることができる。

指導場面

- 朝の会や自立活動での呼名場面

記録

- 7/6～7/19

ねらい

- 目の動きで教員とのやりとりを行う。

指導の手続き

- 1 生徒を呼名し、名前カードを見せる。
- 2 生徒が名前カードを見たらゆっくり左右に名前カードを動かす。
- 3 名前カードの動きに合わせて
 - ・目が動いたら→「返事してくれたんだね」
 - ・目が動かない時→再度2、3の手続きを行う。

指導の成果

実施回数32回

車いす16回 台座位10回 仰臥位5回 抱っこ1回

| 表出 | 目の動きあり | 目の動きなし |
|----|--------|--------|
| 回数 | 21回 | 11回 |

実施後 感じたこと

- 目の動きがあるときは意図を持って見ていると感じるが、目の動きがない時はあまり意図を感じられない。
- やりとりがやや一方的？生徒が気持ちを伝えられるやりとりをするにはこのやり方でいいのだろうか・・・。

「教員との二項関係を築いていく」

- 先生と子どもは一緒に活動者。誰かと何かをする。物を通して(媒介として)教員との人間関係を作っていくとよい。
- 生徒の表出を「こうかな」と教員が思ったことをたくさん拾って共有化していく。
生徒の過去の表出も整理して、卒業後の進路先にどんな生徒か伝えられるようにするとよい。

助言を受けての見直し

目標の見直し

コミュニケーションの手段を増やす



「二項関係を育てる」に変更

指導場面の見直し

「学びの履歴」から、教員とのやりとりがしやすい場面を探し、スタートする。意思表示するといいいことがある場面が良いのでは？（チームでの話し合いから）



飲料を飲む場面での指導に変更

助言を受けての見直し

指導目標

- 清涼飲料水を飲むことを媒介とした教員とのやりとりの中で、口の動きを通して気持ちを伝える。

指導場面

- 覚醒状態が高く、SpO₂の値が安定している時間
→ 登校してから朝の会が始まるまでの時間、帰りの会の前等（生徒の覚醒状態調べより）

指導の手続き

- 1 コップに「〇〇〇(商品名)」を入れながら見せ、音を聞かせたり、コップを鼻に近づけて匂いを嗅がせたりする。
- 2 「〇〇〇(商品名)だよ。飲んでみようね。口に触るよ。」と言いながら、スプーンを口唇に触れさせてから、少量口の中に注ぐ。
- 3 「〇〇〇(商品名)だね。飲む？口に触れるよ」と言いながら、スプーンを口唇に触れさせた状態で待つ。
 - ・口を開けたら→「『飲みたい』だね」→「はいどうぞ」
 - ・口を開けなかったら→「『いらない』だね」→
「じゃあ、おしまい」
「ごちそうさま」

記録方法と記録

記録方法

- 指導の手続きに沿って指導を行い、その様子を動画で撮影した。

記録

- 生徒が目標の行動をどのくらい実行できているか、動画から生徒の表出を拾い出した。
また、「こうかな？」と思う生徒の表出をチームで共有したり、距離や関わる角度、言葉かけについてもチームで検討したりした。

指導の成果

◎…口を開ける

△…口を開けない

▲…それ以外の反応

は…排痰

| 日 | 回 | 1口目 | 2口目 | 3口目 | 4口目 | 5口目 | 6口目 | 7口目 | 備考 |
|-------|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|
| 11/10 | 1 | ▲ | | | | | | | 眠そう、口開かず |
| 11/13 | 1 | ◎ | ◎ | ◎ | △ | | | | |
| | 2 | △ | | | | | | | |
| 11/14 | 1 | ◎ | △ | | | | | | 歯ぎしり、身体に力 |
| 11/15 | 1 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | は | | 痰がからんでいる |
| 11/16 | 1 | ◎ | ◎ | △ | | | | | 痰がからんでいる |
| 11/29 | 1 | ◎ | △ | | | | | | ややうつろ |
| | 2 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | △ | 痰がからんでいる |
| 11/30 | 1 | ◎ | △ | | | | | | 痰がからんでいる |

指導の成果

◎…口を開ける

△…口を開けない

▲…それ以外の反応

は…排痰

| 日 | 回 | 1口目 | 2口目 | 3口目 | 4口目 | 5口目 | 6口目 | 7口目 | 備考 |
|-------|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------|
| 12/1 | 1 | ◎ | は | | | | | | |
| | 2 | ◎ | △ | | | | | | |
| 12/4 | 1 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | △ | | |
| 12/5 | 1 | ◎ | ◎ | ◎ | は | | | | 痰がからんでいる |
| | 2 | ◎ | ◎ | は | | | | | 痰がからんでいる |
| 12/11 | 1 | ◎ | △ | | | | | | 痰がからんでいる |
| 12/13 | 1 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | △ | | ややうつろ |

指導の成果

結果

- 「いない」の時に2、3回確認したが、口を開けることはなかった。
 - 意図をもって口を閉じていると読み取れた。
- 日によって口を開ける(飲む量)に違いが見られた。
 - 「いる」、「いない」の気持ちを表出できていると読み取れた。

ここが成功のポイント

- 生徒の「学びの履歴」を把握・共通理解し、どのような取組が効果的か検討しなおしたこと
- 生徒の好きな飲料を媒介にしたこと
→ 意思表示しやすい場面設定ができた。
- 「いない」の時に2、3度聞いて、本人の意思を確認できたこと
→ 意思をしっかりと伝えられていることがわかった。

ここが成功のポイント

- やりとりの様子を毎回、動画撮影し記録したこと
 - ・ チームで動画を見返し、やりとりの分析を客観的に行うことができた。
 - ・ 言葉かけや関わり方についても活発に検討できた。
- 同じやりとり場面の指導を繰り返し行ったこと
 - 他の場面でも生徒の微細な表出に教員が気づき、やりとりの文脈に沿った「こう伝えているのでは？」を拾うことができるようになってきた。

今後に向けて

(R5年度特別支援教育実践研究報告会での助言を受けて)

「段階的QOL」を意識して指導をステップアップしていきましょう。

現在

1つの飲料を媒介に「飲む」「飲まない」のやりとりができる。

今後（「段階的QOL」を意識したステップアップ）

選択できる力を育てるために、2種類の飲料の1つ1つに対して「飲む」「飲まない」を伝えることで選択することができる。